

経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
34.10	該当数値なし	16.01	76.92	3,348

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,927	318.29	169.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,548	7.61	1,123.26

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



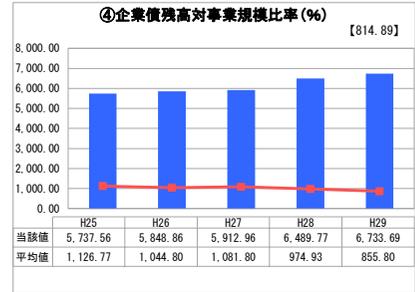
「単年度の収支」



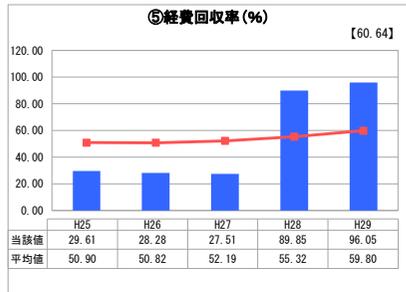
「累積欠損」



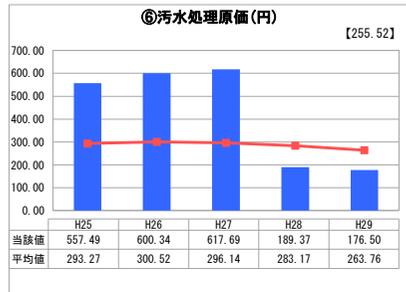
「支払能力」



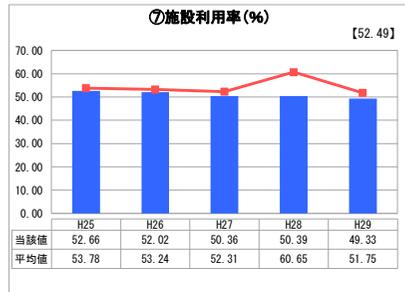
「債務残高」



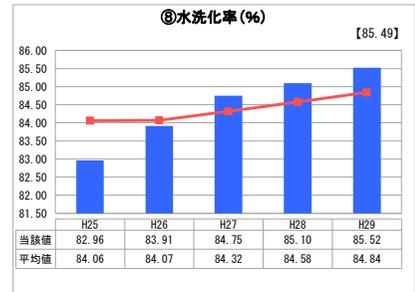
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

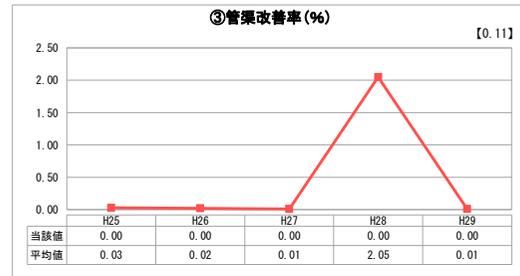
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度において分流式下水道等に要する経費の見直しを行ったことから収益的収入が増加し、①収益的収支比率が改善されている。
 ④企業債残高対事業規模比率は、使用料収入に対し整備事業に要した地方債の残高が大きいことから類似団体と比較すると高い状況にある。
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、①と同様分流式下水道等に要する経費の見直しにより数値が改善されている。
 ⑦施設利用率は、類似団体と比べ同程度であるが、人口減少が著しいことから、今後、有収水量の減少による影響が懸念される。
 ⑧水洗化率は、新規接続等により増加しており、類似団体と比べ高い。

2. 老朽化の状況について

管渠は、更新工事をする著しい老朽化は見られないが、マンホールポンプは、処理場近くの稼働率の高いポンプ等で経年劣化等により修繕や更新を行っている。
 処理場は、経過年数が15年を超える処理施設において、機械設備や電気設備の老朽化に伴い更新が必要な状況にあり、更新計画に基づき費用の平準化を図り、順次、実施している。
 今後、管渠においては、腐食が発生しやすいヒューム管等において更新が必要となり、処理場については、これまでどおり経過年数の長い施設から更新工事が必要となる。

全体総括

人口減少等により使用料による収入の増加は見込み難いが、隣接する特定環境保全公共下水道事業との処理区の統合により処理場にかかるランニングコストや施設設備の更新費用の削減を行う。また、更新事業については、管渠の計画的な点検や資産情報により施設の更新需要の把握に努め、費用の平準化を図るなど経営の健全化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。